

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-304588  
 (43)Date of publication of application : 18.10.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60

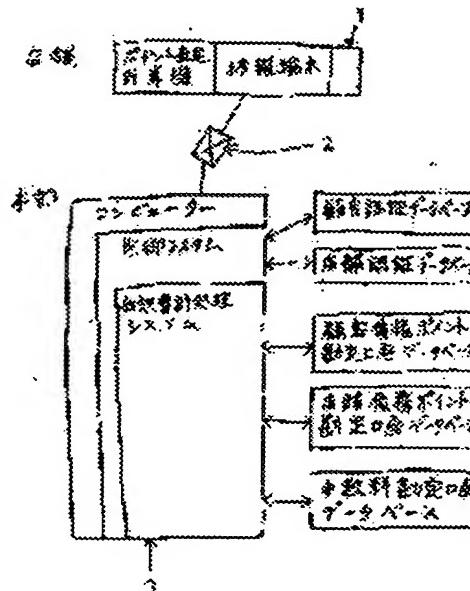
(21)Application number : 2001-143967 (71)Applicant : SASAI TOSHIHIKO  
 (22)Date of filing : 04.04.2001 (72)Inventor : SASAI TOSHIHIKO

## (54) FRANCHISE BARTER SYSTEM FOR ACTIVATING TRANSACTION

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a system for activating a barter business.

**SOLUTION:** At the time of receiving a certain article from a customer in a store, the received article is converted into points according to the assessment value of a headquarter, and customer information and the credit point increase information of the customer and store information and the debt point increase information of the store are transmitted from an information terminal 1 of the store to a computer 3 of the headquarter. At the time of transferring a certain article in the store, the article to be transferred is converted into points according to the assessment value of the headquarter, and the customer information and the credit point decrease information of the customer and the store information and the debt point decrease information of the store are transmitted from the information terminal of the store to the computer of the headquarter. The computer of the headquarter decreases the credit point calculation account of the customer to be managed, and simultaneously decreases the debt point calculation account of the store, and increases the margin calculation account of the headquarter for the store.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

[decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2002-304588  
(P2002-304588A)

(43)公開日 平成14年10月18日(2002.10.18)

(51)Int.Cl.  
G 0 6 F 17/60識別記号  
4 1 0  
1 2 4F I  
G 0 6 F 17/60デマコト(参考)  
4 1 0 A  
1 2 4

審査請求 未請求 請求項の数7 書面 (全6頁)

(21)出願番号 特願2001-143967(P2001-143967)

(71)出願人 595032417

(22)出願日 平成13年4月4日(2001.4.4)

笹井 敏彦

岡山県御津郡御津町大字草生1993番地

(72)発明者 笠井 敏彦

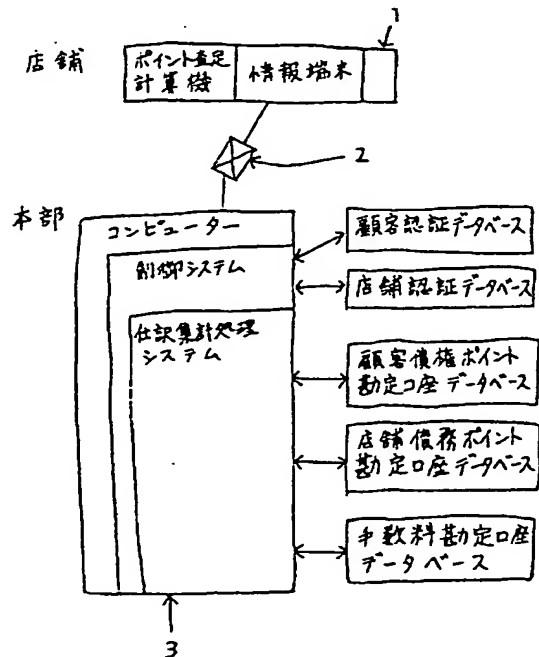
岡山県御津郡御津町草生1993

(54)【発明の名称】取引を活発にするフランチャイズ物々交換システム

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 物々交換事業を活発化するシステムを提供する。

【解決手段】 店舗において顧客からある物を譲り受けた場合は、譲り受けた物を本部の査定価値によりポイント化し、店舗の情報端末1から顧客情報と顧客の債権ポイント増加情報を本部のコンピュータ3へ送信する。店舗において顧客に店舗のある物を譲り渡す場合は、譲り渡す物を本部の査定価値によりポイント化し、店舗の情報端末から顧客情報と顧客の債権ポイント減少情報を本部のコンピュータへ送信する。本部のコンピューターは管理する顧客の債権ポイント勘定口座を減少させると同時に、店舗の債務ポイント勘定口座の減少と、店舗に対する本部の手数料勘定口座の増加処理を行うフランチャイズ物々交換システム。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】ある店舗に於いてある顧客からある物を譲り受けた場合は、その譲り受けた物を本部が定める査定価値によりポイント化し、その店舗にある本部のコンピューターと通信出来る情報端末により、その顧客情報とその顧客の本部に対する債権ポイント増減情報及びその店舗情報とその店舗の本部に対する債務ポイント増減情報を送信する手段により、本部のコンピューターが管理するその顧客の本部に対する債権ポイント勘定口座を増加させる仕訳処理を行うと共に、その店舗の本部に対する債務ポイント勘定口座を増加させる仕訳処理を行う手段を有し、逆に今度は、ある店舗に於いてある顧客にその店舗のある物を譲り渡す場合は、その譲り渡す物を本部が定める査定価値によりポイント化し、その店舗にある本部のコンピューターと通信出来る情報端末により、その顧客情報とその顧客の本部に対する債権ポイント減少情報及びその店舗情報とその店舗の本部に対する債務ポイント減少情報を送信する手段により、本部のコンピューターが管理するその顧客の本部に対する債権ポイント勘定口座を減少させる仕訳処理を行うと共に、その店舗の本部に対する債務ポイント勘定口座を減少させる仕訳処理を行うと共に、さらにその時同時に、本部のコンピューターが管理するその店舗に対する本部の手数料勘定口座を増加させる仕訳処理を行うようにした手段を有するフランチャイズ物々交換システム。

【請求項2】請求項1記載のフランチャイズ物々交換システムに於いて、それぞれの顧客にそれぞれの顧客情報を記録した電子記録媒体を配布し、店舗にある電子記録媒体情報読み取り装置でその顧客が持つ電子記録媒体の顧客情報を読み取る事により、いちいち顧客情報を入力する手間を省く事が出来る様な手段を有するフランチャイズ物々交換システム。

【請求項3】請求項1から2の何れか記載のフランチャイズ物々交換システムに於いて、店舗にあるポイント査定計算機により、譲り受けた物を本部が定める査定価値基準により即座にポイント査定する手段を備えるフランチャイズ物々交換システム。

【請求項4】請求項1から3の何れか記載のフランチャイズ物々交換システムに於いて、店舗にある本部のコンピューターと通信出来る情報端末から顧客情報とその顧客の債権ポイント増減情報及び、その店舗情報とその店舗の債務ポイント増減情報を送信する際、その顧客のパスワードと共に送信する手段を有し、情報を送信された本部のコンピューターは、直ちに顧客認証データベースに問い合わせ、その顧客に間違いないと認証が認められれば、仕訳処理を実行するようにした手段を有するフランチャイズ物々交換システム。

【請求項5】請求項1から4の何れか記載のフランチャイズ物々交換システムに於いて、店舗にある本部のコンピューターと通信出来る情報端末から顧客情報とその

顧客の債権ポイント増減情報及び、その店舗情報とその店舗の債務ポイント増減情報を送信する際、その店舗のパスワードと共に送信する手段を有し、情報を送信された本部のコンピューターは、直ちに店舗認証データベースに問い合わせ、その店舗に間違ないと認証が認められれば、仕訳処理を実行するようにした手段を有するフランチャイズ物々交換システム。

【請求項6】請求項1から5の何れか記載のフランチャイズ物々交換システムに於いて、顧客に債券ポイントを発行する場合に、発行した日時もその債権ポイントの付箟情報をとして記録するような手段を有し、顧客が債権ポイントを使う場合は、最も時間的に古いポイントから減少させるような先入れ先出し法による債権ポイント仕訳処理手段を有すると共に、本部が定めたポイント有効期限が過ぎた顧客の債権ポイントは削除するようにした仕訳処理手段を有するフランチャイズ物々交換システム。

【請求項7】請求項6に記載のフランチャイズ物々交換システムに於いて、有効期限が過ぎて削除した顧客の債権ポイントを本部が定める方法によって日毎あるいは月毎、年毎のように集計し、その削除したポイントを最も多くポイントを使っている上位の顧客に対して本部が定める方法によって付与する手段を有するフランチャイズ物々交換システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、物々交換事業をフランチャイズ展開し、尚かつ物々交換を活発にするためのシステムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】まず、従来の物々交換事業を図を使って説明する。図1は従来の直営店型の物々交換における勘定を表したものである。図1に於いて、顧客A(1)と顧客A(2)は店舗に自分達が持っている物を譲り渡し、その見返りとしてポイントを譲り受ける。次に顧客A(1)と顧客A(2)は、それぞれ貰ったポイントを使って店舗にある物を譲り受ける。これで、顧客A

(1)と顧客A(2)は互いの物を店舗を仲介して物々交換を成立させた事になる。この様に、直営店が顧客から譲り受けた物は直営店の所有物であるから、顧客にポイントを発行してもその債務を返済する担保を持つ事が出来た。

【0003】ところが、物々交換事業をフランチャイズ展開しようとした場合、加盟店が顧客から譲り受けた物は加盟店の所有物である事から、顧客にポイントを発行しても、そのポイントの債務をどのように処理するかが解決出来ていなかつたために、フランチャイズ展開を難しくしていた。

【0004】そのため顧客としても、物々交換事業者からポイントを貰ってもその直営店でしかそのポイントを

使う事が出来ないため、交換出来る物の数が少ないと  
いう不便さがあった。また物々交換事業者にとつても直営  
店を増やす事はコストの増加とリスクの増加を伴うもの  
なので多店舗展開する事が難しかった。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】そこで、加盟店が顧客  
から譲り受けた物は加盟店の所有物であるとした上で、  
それに代わるシステムを創造する事によって物々交換事  
業をフランチャイズ化しようとするものである。

【0006】物々交換事業を直営店だけでなくフランチ  
ヤイズチェーン化出来れば、より多くの加盟店でポイント  
が使えるようになり、顧客にとって利便性が増すと共に  
事業者にとってもコストを掛けずに多店舗展開し易く  
なる。そのためには加盟店とフランチャイズ本部とが、  
ポイントの発行と交換した物との貸借関係をシステム化  
する必要がある。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため  
に、新しく加盟店に対するポイント債権システムを作る  
事によって解決しようとするものである。これは加盟店  
側から見れば、本部に対する債務ポイントとなる。

【0008】このシステムを図を使って説明する。図2  
はフランチャイズ展開した時の物々交換事業を債権ポイ  
ントシステムの勘定を加えて表したものである。図2に  
於いて、顧客A(1)と顧客A(2)はそれぞれ店舗B  
(1)及び店舗B(2)に自分達が持っている物を譲り  
渡し、その見返りとしてポイントを譲り受ける。次に顧  
客A(1)と顧客A(2)は、それぞれ貰ったポイントを  
使って、物を譲り渡した店舗とは違う店舗にある物を  
譲り受ける。これで、顧客A(1)と顧客A(2)は互  
いの物を違う店舗を仲介して物々交換を成立させた事に  
なる。

【0009】このようにすれば、本部が顧客にポイント  
を発行しても、その債務を、本部は物を譲り受けた加盟  
店に対しての債権ポイントを持つようになるので、顧客  
へのポイント債務を返済する担保を持つ事が出来る。

【0010】そして顧客と加盟店のポイント勘定口座を  
本部のコンピューターが全て管理するようにしたシス  
テムを表したもののが図3である。このように本部のコンピ  
ューターが顧客及び加盟店のポイント勘定口座を全て管  
理することにすれば、勘定を整理出来る。

【0011】図4は本部のコンピューター内におけるポイ  
ント勘定を整理して表したものである。ここでは、新たに  
加盟店に対する本部の手数料勘定を加えて表してい  
る。本部の加盟店に対する手数料は、顧客がポイントを  
使って店舗から物を譲り受ける時にのみ発生するもの  
であるから、当然、店舗が顧客から物を譲り受ける場合に  
は発生しないものとなる。

## 【0012】

【発明の実施の形態】この発明の実施の形態を簡単に説

明する。まず、店舗には本部のコンピューターと通信が  
出来る情報端末を置く。そこへ顧客が要らなくなった物  
(例えはビデオソフト等)を譲り渡しに来る。譲り受け  
た店舗は本部が定める査定価値に見合うポイントを情報  
端末を操作してその顧客に発行する手続きをする。本部  
のコンピューターはその情報の内容によって所定の仕訳  
処理を行う。物を譲り受ける時は顧客から手数料を貰わ  
ないので、顧客にとっては店舗に物を譲り渡し易くな  
る。そして顧客としては、ポイントを貰えば当然それを  
使ってしまうというインセンティブが高まるから、今  
度は顧客がポイントを使って店舗から物を譲り受ける時  
に手数料を店舗が貰えばよい。この時店舗が顧客から貰  
う手数料を使うポイントの10パーセントとし、その内  
の20パーセントを本部の手数料として店舗が本部に支  
払う事とするように取り決める事も出来る。

【0013】顧客が物々交換事業者と物々交換取引を初  
めようとする時は、その顧客の顧客情報を記録した電子  
記録媒体(I Cカードの様な物)を発行してその顧客に  
持たせれば、次回から物々交換する時は、店舗にある情  
報端末に顧客の情報をいちいち入力する手間を省く事が  
出来る。

【0014】店舗にある本部のコンピューターと通信出  
来る情報端末から顧客情報とその顧客の債権ポイント増  
減情報及び、その店舗情報とその店舗の債務ポイント増  
減情報を送信する際、その顧客のパスワードと共に送信  
し、情報を送信された本部のコンピューターは、直ちに  
顧客認証データベースに問い合わせ、その顧客に間違  
ないと認証が認められれば、仕訳処理を実行するよう  
にすれば、セキュリティを高める事が出来る。

【0015】店舗にある本部のコンピューターと通信出  
来る情報端末から顧客情報とその顧客の債権ポイント増  
減情報及び、その店舗情報とその店舗の債務ポイント増  
減情報を送信する際、その店舗のパスワードと共に送信  
し、情報を送信された本部のコンピューターは、直ちに  
店舗認証データベースに問い合わせ、その店舗に間違  
ないと認証が認められれば、仕訳処理を実行するよう  
にすれば、セキュリティを高める事が出来る。

【0016】顧客に債券ポイントを発行する場合に、発  
行した日時もその債権ポイントの付随情報として記録す  
るようにし、顧客が債権ポイントを使う場合は、最も時  
間的に古いポイントから減少させるような先入れ先出し  
法による債権ポイント仕訳処理をすると共に、本部が定  
めたポイント有効期限が過ぎた顧客の債権ポイントは削  
除するようにすれば、顧客は期限切れになる前にポイ  
ントを早く使ってしまうというインセンティブが高ま  
り、物々交換取引が活発になる。

【0017】有効期限が過ぎて削除した顧客の債権ポイ  
ントを本部が定める方法によって毎日あるいは月毎、年  
毎のように集計し、その削除したポイントを最も多くポイ  
ントを使っている上位の顧客に対して本部が定める方

法により、ボーナスポイントとして付与するようすれば、顧客はより多くの取引をしようとするインセンティブが高まり、物々交換取引が活発になる。

【0018】

【実施例】図5にフランチャイズ物々交換システムの概略図を示す。

【0019】

【発明の効果】顧客にとってはポイントが使える店舗の数が増えて、物々交換可能な物の数も増えるので利便性が増し、物々交換事業者にとってはフランチャイズ方式により低コスト及び低リスクでグループ店舗を増やす事が出来て、尚かつポイントに有効期限及びボーナスポイント制度を付加することが出来るので、物々交換取引を活発にする事が出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】直営店型の物々交換事業の勘定を表した概略図。

【図2】フランチャイズ型の物々交換事業の勘定を表した概略図。

【図3】フランチャイズ型の物々交換事業の概念図。

【図4】本部のコンピューターで勘定口座を全て管理し、整理した時の概略図。

【図5】フランチャイズ物々交換システムの概略図。

【図6】顧客の債権ポイント勘定口座の先入れ先出し法による仕訳例の図。

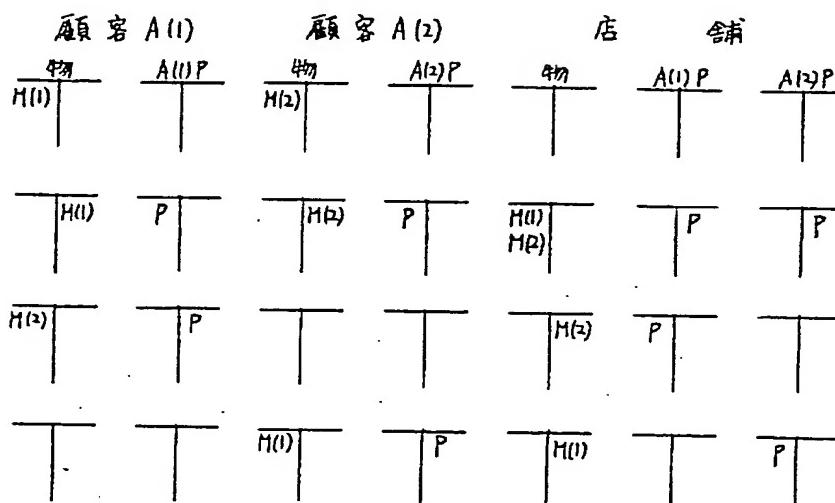
【符号の説明】

1は電子記録媒体情報読み取り装置

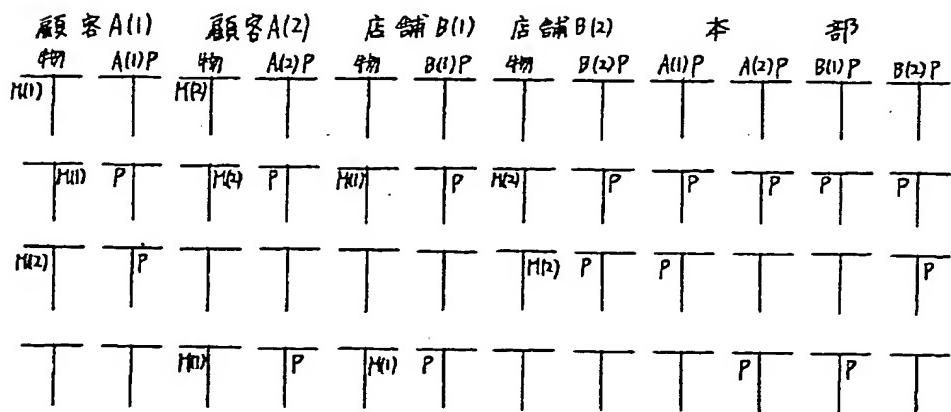
2は通信回線

3は本部のコンピューター

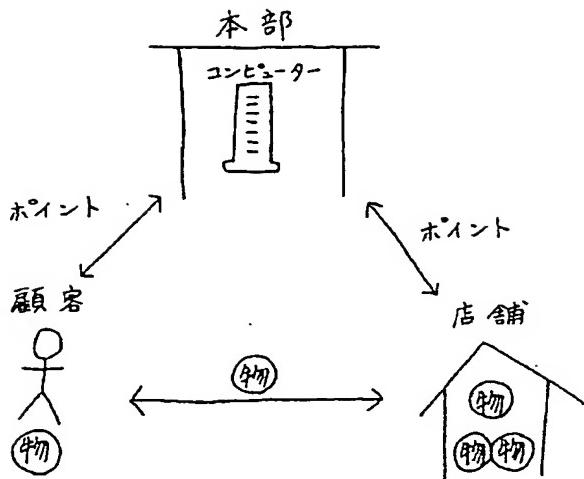
【図1】



【図2】



【図3】



【図6】

A(n) 債権ポイント勘定口座	
日時(1) ポイント	日時(1) ポイント
日時(2) ポイント	日時(2) ポイント
日時(3) ポイント	、
日時(4) ポイント	、
、	、
、	、
、	、

【図4】

本部に対するポイント勘定口座を本部が全て管理

A(1)P	A(2)P	B(1)P	B(2)P	手数料
T	T	T	T	T
P	P	P	P	T
T	T	T	P	B(2)金
T	T	P	T	Bn金

【図5】

